

# 87「お～になる」フラッシュカード (スライド用)

## フラッシュカードの使い方

活動前作業 教室にモニターがあれば、該当データを映せるようにする。

活動 ①辞書形を見せて、S全体で「お～になる」の形を言ってもらう。

指名してさらに答えてもらう。

②「動詞一覧表」(最終ページ)を印刷してSに渡し、ペアで練習する。

③小さい紙を配り、Tが辞書形を言い、Sに「お～になる」の形を書くよう指示する。

④Sに答えを聞きながら板書していき、各自確認するよう指示する。

※口頭ではミスが確認しにくいので、必ず書く時間を作ること。

※余裕があれば、以下のような活動を行ってもよい。

「動詞一覧表」を切り取って動詞のカードを作り、グループの数分用意しておく。1人がカードをひいて、出た動詞の「お～なりますか」の形で隣の人に質問し、隣の人がそれに答える。答えた人が次のカードをひいて、同様に進めるよう指示。他の人は、質問や答えの文が正しいかどうかチェックする。答えるときは自分のことだから「お～なります」を使わないことを確認しておく。

はなす

おはなしになる

か、ける

おかけになる

かえる

おかえりになる

あ う



おあいになる

よふふ

およびになる

よむ

およみになる

すわる

おすわりになる

こたえる



おこたえになる

はいいる

おはいいりになる

やすむ

おやすみになる

おりる

おおりになる

かく



おかきになる

はなす	よぶ	はいる
かける	よむ	やすむ
かえる	すわる	おりる
あう	こたえる	かく